

練習 12.1 (1) \mathbb{R}^3 のベクトル

$$\begin{pmatrix} 1 \\ a \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 3 \\ -2 \\ a \end{pmatrix}$$

が (\mathbb{R}^3 の標準内積で) 直交するように a を求めよ.

(2) (1) で求めた a の値に対して, 二つのベクトルが 1 次独立な事を示せ.

解 (1) 二つのベクトルを a, b と置くと, 標準内積は

$$(a, b) = 3 - 2a - a = 3 - 3a = 0. \text{ よって } a = 1 \text{ となる.}$$

(2) a と V_{ecb} は 0 でなく直交している.

$$c_1 a + c_2 b = 0$$

とする. 両辺と a の内積を取ると

$$c_1 (a, a) + 0 = 0$$

$(a, a) = 3$ だからこれより $c_1 = 0$. 同様に, 最初の式と V_{ecb} の内積をとると

$$c_2 (b, b) + 0 = 0$$

$(b, b) = 9 + 4 + 1 = 14$ だから, これから $c_2 = 0$. したがって $c_1 = c_2 = 0$ となり, V_{eca}, b は 1 次独立. もちろん今までの様に簡約形を求めて

$$[a, b] = \begin{pmatrix} 1 & 3 \\ 1 & -2 \\ -1 & 1 \end{pmatrix} \rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 3 \\ 0 & -5 \\ 0 & 4 \end{pmatrix} \rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 3 \\ 0 & 1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \\ 0 & 0 \end{pmatrix}$$

となり, $\text{rank}([a, b]) = 2$ なので, a, b は 1 次独立としても良い.

また, 実際に $c_1 a + c_2 b = 0$ を c_1, c_2 に関する連立方程式 (斉次方程式) としてといて, $c_1 = c_2 = 0$ をだし, 1 次独立と言っても良い.